

2階情報コーナーの展示ケースでは、特別展終了後、特別展の一部の展示を再展示しているほか、企画による展示も行っている。また、よりいっそうの活用をはかるために平成17年度から「ミニ文化祭」という名称での展示の募集も行っている。「ミニ文化祭」の募集の対象は小学校から大学までの児童生徒、学生による研究発表作品で、内容は博物館のテーマである「相模川流域の自然と文化」にふさわしいものに限っている。展示者は個人でもグループでも可とし、また、未発表であることは問わない。「ミニ文化祭」は、若い世代による地域研究に発表の場を提供し、身近な自然と文化について調べる気運を高めるとともに情報交換と交流の機会を作ることを目的としている。現在、ホームページ上で希望者を募っている。27年度の「ミニ文化祭」の応募は1件であった。情報コーナーにおける展示は、下記の通り実施した。

平成28年度に実施した情報コーナーの展示内容

通算回数	期間	テーマ	展示者	内容
58	3月26日 ～ 5月8日	平塚市指定重要文化財展	平塚市社会教育課	平塚市が指定した重要文化財を公開した。
59	5月14日 ～ 6月29日	ひらつかの家康伝説 — 由緒と地域—	ポスト特別展	春期特別展のダイジェストを展示した。
60	7月2日 ～ 10月7日	錯視錯覚の科学	3館コラボレーション 企画展	人間の脳や光のトリックで起きる錯視や錯覚の不思議を科学した。
61	10月9日 ～ 12月16日	古文書から読み解く秦野 の歴史～丹沢山御林・加 羅古神社・たばこ～	秦野曾屋高校日本史研 究同好会	秦野曾屋高校日本史研究同好会の研究成果を展示した。
62	12月23 ～ 2月28日	知られざる平塚のロケッ ト開発	ポスト特別展	平塚にあった海軍火薬廠のロケット技術を紹介した。
63	3月4日～ 5月7日	ひらつか星空調査隊3年 間のあゆみ	ひらつか星空調査隊	平塚市域とその周辺の夜空の明るさを調べた「ひらつか星空調査隊」。その3年間の歩みと、光害について紹介。



情報コーナー錯視錯覚の科学イベント